

第21回環境学校

温暖化防止と再生可能エネルギー推進のために自分に何ができるか一緒に考えましょう。

開催日:2016年9月17日(土)

開場9:30 am10:00~pm4:00

会場:大阪民医連ホール (地下鉄堺筋本町駅下車)

資料代500円(子ども・学生無料)

10:00~12:00 第一部 講義

温暖化防止と再生可能エネルギー推進のために

講師:和田武先生 (元立命館大学教授・自然エネルギー市民の会代表)

13:00~16:00 第二部 再生可能エネルギー最新情報

地域の実践・新エネルギーの可能性・などなど

主催:大阪から公害をなくす会

問合せ:06-6949-8120 or E-mail:oskougai@coast.ocn.ne.jp

昼食弁当(550円・お茶付き)は予約制。

1週間前までに連絡ください。



第一部

10:00~12:00 第一部 講義

温暖化防止と再生可能エネルギー推進のために

講師:和田 武先生 (元立命館大学教授・自然エネルギー市民の会代表)

- 地球温暖化・気候変動が進行すると、人類の生存基盤をも崩壊させかねない重大事態を招くおそれがあることを学ぶ。昨年末にCOP21で採択された「パリ協定」は、温室効果ガスの大幅削減(21世紀末には排出ゼロかマイナス)を可能にできるか否か、今後の人類の取り組み如何にかかっている。
- 世界では温室効果ガス大幅削減を原発依存ではなく、再生可能エネルギー中心に達成しようとする動きが強まっている。2050年までに、デンマークでは再生可能エネルギー100%、ドイツでも電力の80%以上を再生可能エネルギーにする計画で、市民・地域主導で普及を推進している。
- 日本でも電力買取制度導入後、太陽光発電を中心に普及が進み始めたが、政府や電力会社は原発の再稼働を推進する一方で再生可能エネルギーについては抑制的な動きを強めている。
- 私たち市民が再生可能エネルギーの生産者や消費者として積極的に取り組めば、原発抜きで地球温暖化防止は可能である。市民共同発電所づくりや再生可能エネルギー電力購入等、明るい未来を切り拓くために、私たち市民に何が出来るかを考えたい。

昼休憩

弁当は予約制(一週間前までに申込を)周辺では多くの飲食店が利用可能です

第二部

ここでは、①再生可能エネルギーの最近の情報、②行政の取り組み(市民との共同を含めて)の具体的な話を聞いて、自分が何が出来るかを考えてみよう。

13:00~13:40 各地の再生可能エネルギー推進の動き 講師 中村庄和氏(自然エネルギー市民の会事務局次長)

13:40~14:10 行政から見た市民共同発電所の取り組み 講師:貴志 泰章課長(泉大津市都市政策部環境課)

14:10~14:30 公共施設等への電力供給の府内初の自治体特定規模電気事業者「一般財団法人泉佐野電力」について
講師:柿本 香(財団法人泉佐野電力 事務局長)

14:30~14:40 休憩 質問用紙記入

14:40~15:40 あれもこれもトークセッション(なんでも、イロハのイから質問してください。)
和田先生、講師の方、会場からも回答などしてもらい、討論。

討論テーマ「地域で、組織・団体で、そして、自分の家で何が出来るか、何から始めるか」

15:40~16:00 まとめと挨拶